2024年６月期第３四半期
決算説明資料

株式会社ファインズ
（証券コード5125）

INDEX

目次

2024年 6 月期第 3 四半期決算	PAGE I 2
重要指標（KPI）	PAGE I 11
ビジネスモデル	PAGE I 18
Appendix	PAGE I 25
オンライン説明会についてのご案内	PAGE I 27

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

2024年 6 月期第 3 四半期決算

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

売上高は前年同期比6.6％減、営業利益は前年同期比61.5％減

固定費が増加した一方で、売上が想定より減少し営業利益率が悪化

足元のセールスコンサルタント数は回復傾向

期初から続いた減少傾向に歯止め。採用方法の見直しにより再び人員拡大へ

2024年６月期業績予想を下方修正

第３四半期までの進捗を踏まえ、計画を修正
売上高は前回予想比6.1％減、営業利益は前回予想比26.7％減

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

セールスコンサルタント数は回復基調にあるものの、
採用計画を上回る結果とはならず、売上高は計画をやや下回る推移
1月まで本社移転に係る費用の発生があり、営業利益は前年同期比61.5%減

（単位：百万円）	2023年６月期	2024年６月期	
	第３四半期累計期間	第３四半期累計期間	前年同期比
売上高	2,169	2,026	△6.6%
売上総利益	1,825	1,653	△9.4%
売上総利益率	84.1%	81.6%	△2.5pt
営業利益	571	220	△61.5%
営業利益率	26.3%	10.9%	△15.5pt
経常利益	574	229	△60.1%
四半期純利益	388	150	△61.3%

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

第３四半期までの進捗を踏まえ計画を修正
売上高は2,750百万円、営業利益は315百万円となる見通し

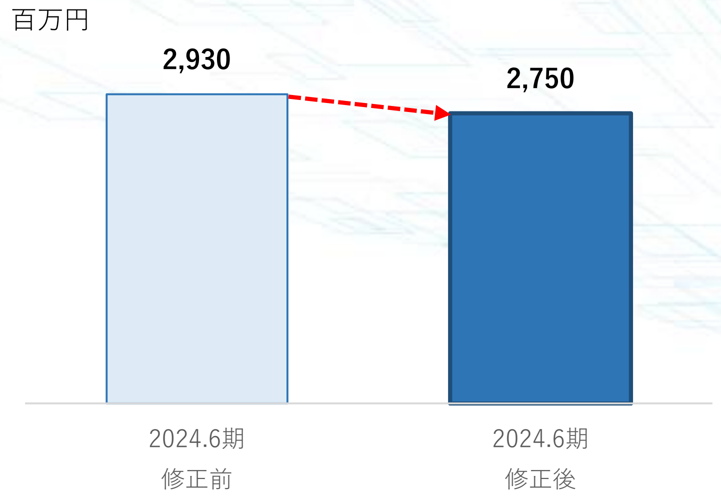
2024年６月期　通期業績予想の修正及び増減率

(単位：百万円)	2023年6月期（参考）前期実績	2024年6月期 前回予想	2024年6月期 修正予想	対前回予想比 増減率
売上高	2,913	2,930	2,750	△6.1%
営業利益	739	430	315	△26.7%
営業利益率	25.4%	14.7%	11.5%	△3.2pt
経常利益	743	420	325	△22.6%
当期利益	510	270	215	△20.4%

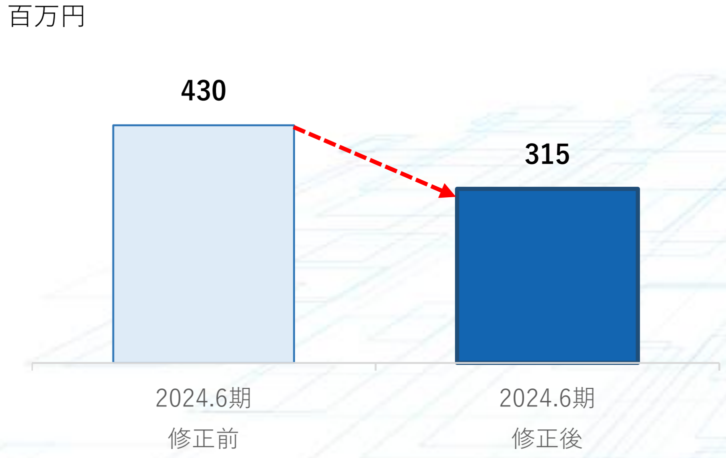
© FINES ALL RIGHT RESERVED.

2024年６月期　業績予想修正の主な要因

通期業績予想の売上高



通期業績予想の営業利益



セールスコンサルタント数の減少及び動画制作単価の低下

足元では採用方法の見直しなどにより回復傾向であるものの、
期初から人員の減少が続く
また、期初に想定したよりも動画制作単価が低下

売上総利益率の低下

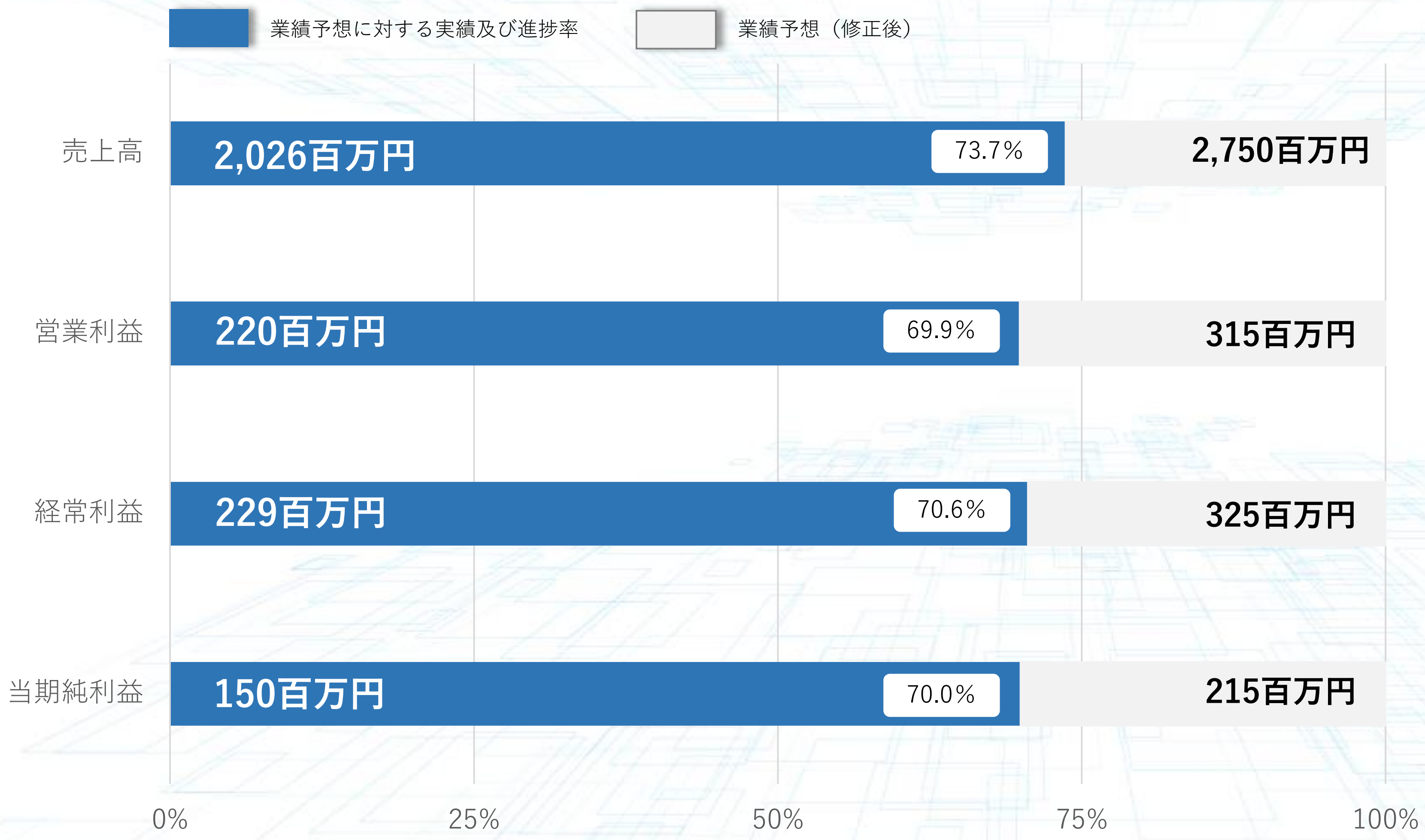
売上高が減少したことと外注費及び原価部門の人件費が
増加したことにより原価が増加
売上総利益率の低下が営業利益を押し下げる要因に

販管費はほぼ計画どおり

移転費用を含む販管費については、ほぼ計画どおりで推移
第４四半期は採用強化のため採用費上振れの見通し

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

業績予想を修正したものの、人員数の回復傾向、本社移転完了などにより第４四半期の業績見通しは回復を見込む



業績予想（修正後）

売上高	2,750百万円 前期比-5.6%
営業利益	315百万円 前期比-57.4%
経常利益	325百万円 前期比-56.3%
当期純利益	215百万円 前期比-57.8%

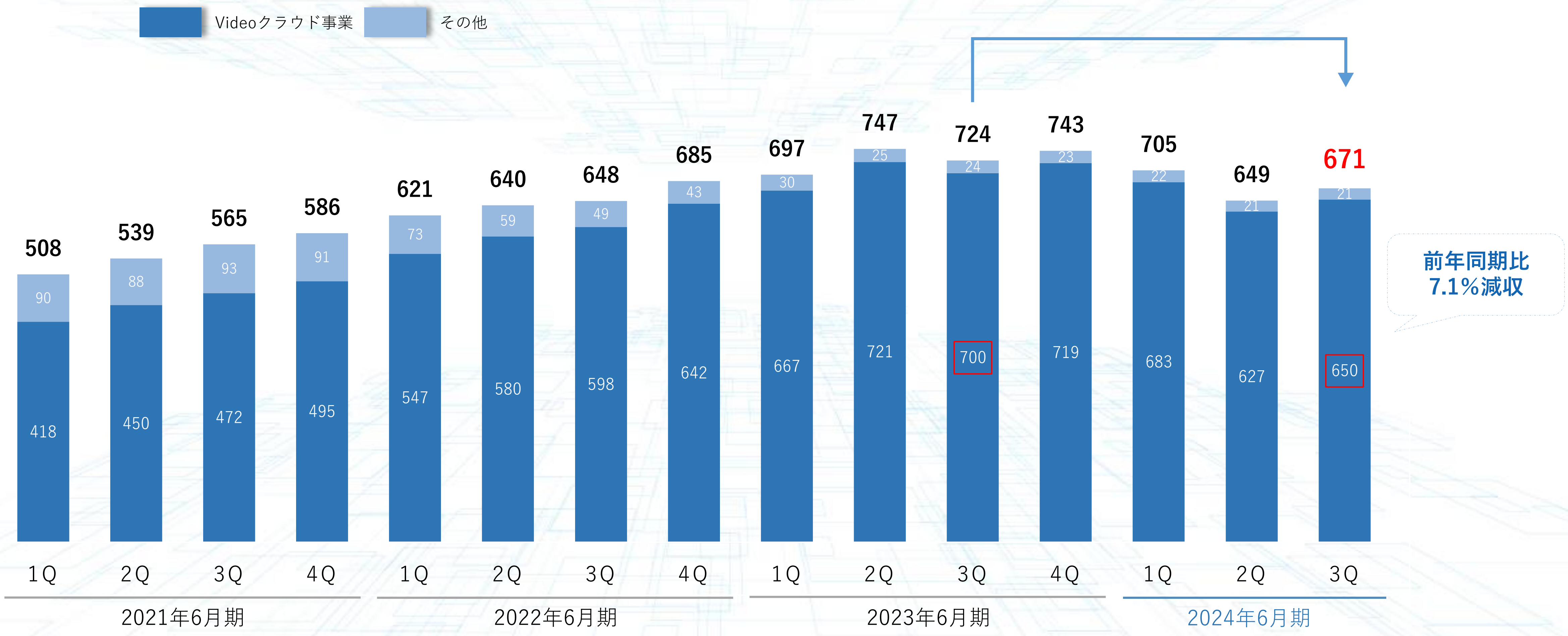
通期業益予想（修正前）に対する進捗

売上高	2,930百万円（69.2%）
営業利益	430百万円（51.2%）
経常利益	420百万円（54.6%）
当期純利益	270百万円（55.7%）

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

Videoクラウドの獲得が下げ止まり、前四半期を上回る売上高を計上
Videoクラウド事業全体では前年同期比50百万円（-7.1%）減

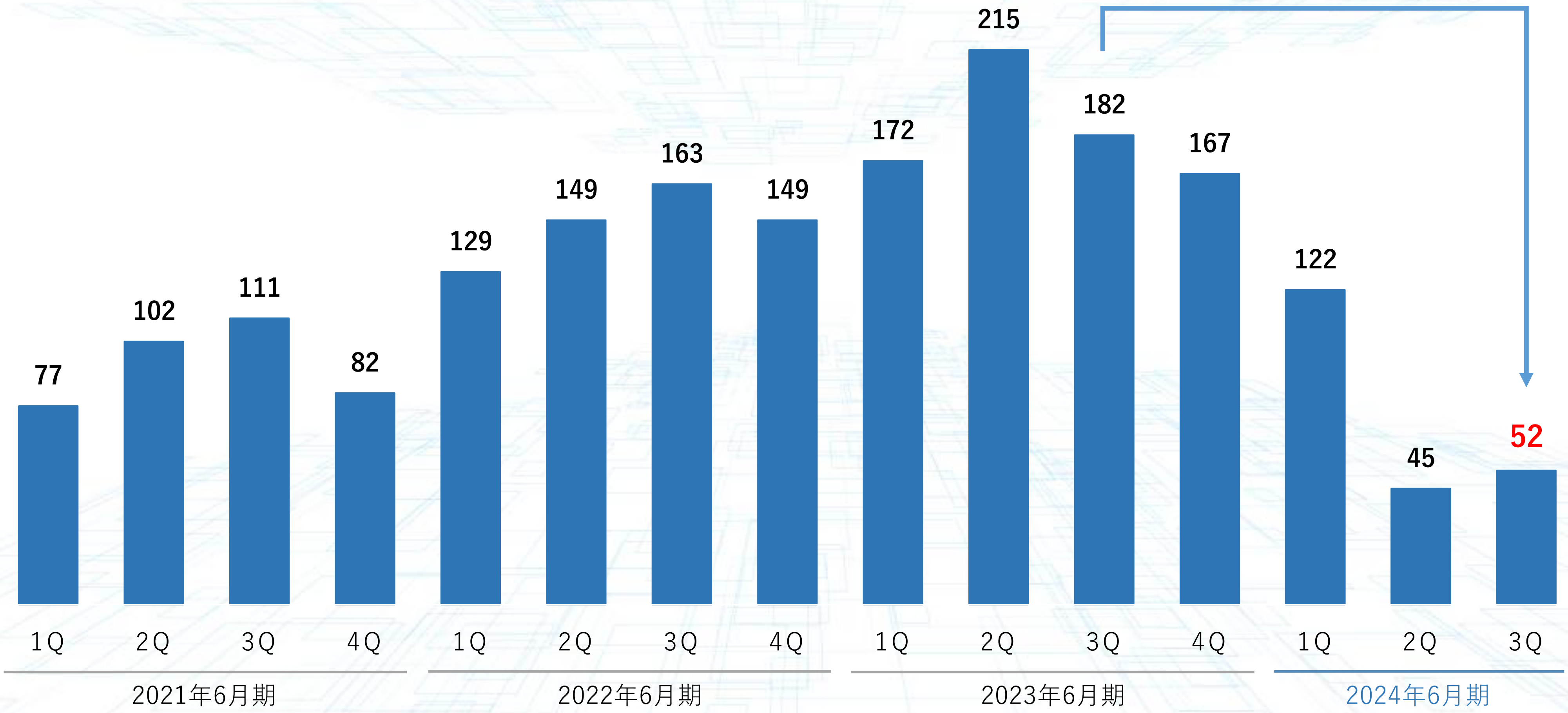
（単位：百万円）



© FINES ALL RIGHT RESERVED.

本社移転に係る費用発生は第３四半期まで見込んでおり
営業利益は前年同期比130百万円（71.5%）減

（単位：百万円）



© FINES ALL RIGHT RESERVED.

本社移転に伴う支払いにより現金及び預金が減少
有形固定資産の増加に伴い固定資産が増加

（単位：百万円）	2023年 6 月期	2024年 6 月期	
	期末	第 3 四半期末	増減額
資産合計	2,386	2,430	+44
流動資産	2,070	2,005	△65
現金及び預金	1,737	1,630	△106
固定資産	315	425	+110
のれん	109	95	△13
負債合計	638	509	△128
流動負債	638	509	△128
固定負債	–	–	–
純資産合計	1,747	1,920	+173
（自己資本比率　％）	73.2%	78.7%	–

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

重要指標（KPI）

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

当社のメトリクスイメージ

注１．Videoクラウド事業のセールスコンサルタント在籍人数（期中平均）
注２．動画制作サービスの納品件数を、各期セールスコンサルタント在籍人数（期中平均）で除して算出
注３．動画制作サービスの平均納品単価
注４．Videoクラウド事業のうち、「動画制作サービス」を除いた「動画配信プラットフォームサービス」と「DXコンサルティングサービス」の売上高
注５．営業利益率に影響を及ぼす経営指標。該当期の動画制作工程の「①ディレクション」「②撮影」「③編集」「④納品」のうち、「②撮影」以外の全ての工程を当社で担った案件の比率を算出

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

採用体制を改善した結果セールスコンサルタント数が復調傾向
1人当たり納品件数は前四半期と同水準で推移

セールスコンサルタント数[1]

（単位：人）

1人当たり納品件数[2]

（単位：件）

注１．当該四半期末におけるVideoクラウド事業（DXコンサルティング事業を除く）のセールスコンサルタント在籍人数
注２．当該四半期における動画制作サービスの納品件数を、同四半期セールスコンサルタント在籍人数の平均で除して算出

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

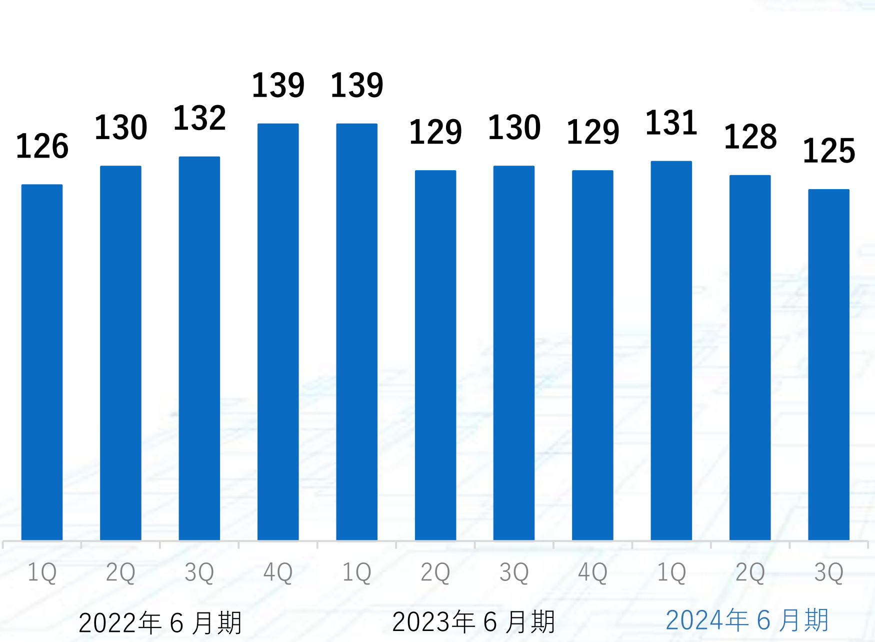
Videoクラウド導入実績社数は順調に伸展

導入実績は2024年３月末時点で4,519社を突破

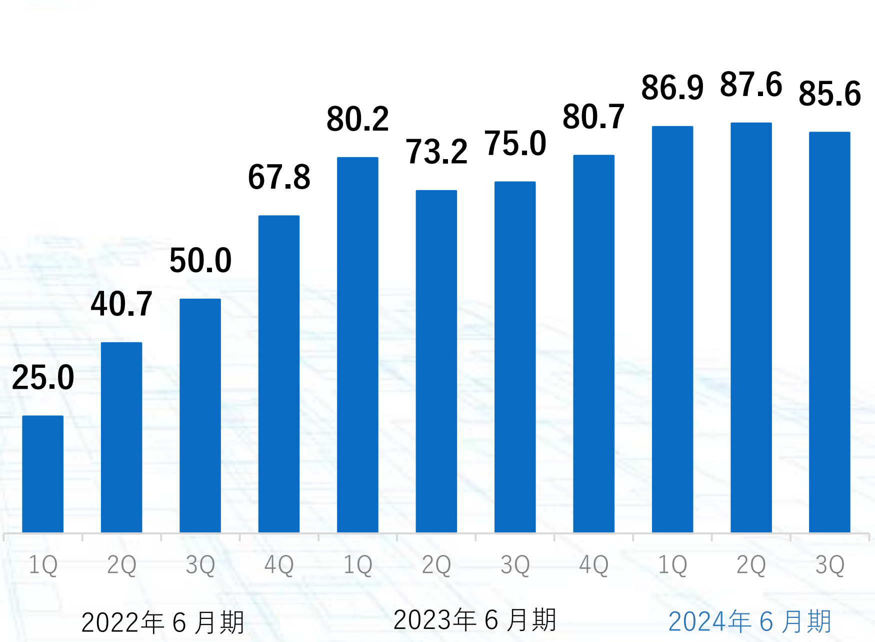
© FINES ALL RIGHT RESERVED.

動画制作単価については前四半期を下回る水準
内製化率は引き続き高水準を維持

動画制作単価[1]



内製化率[2]



注１．当該四半期における動画制作サービスの平均制作単価であり、小数点以下は四捨五入
注２．当該四半期における動画制作工程の「①ディレクション」「②撮影」「③編集」「④納品」のうち、「②撮影」以外の全ての工程を当社で担った案件の比率を算出

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

セールスイネーブルメントによる生産性向上施策

▶

セールスイネーブルメントによる教育体制強化により、足元の獲得件数は復調傾向、今後の人員数増加に伴う生産性低下の抑止を目指す

ファイナンス支援の強化

▶

新たな信販会社との提携等、
顧客向けファイナンス支援を拡大

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

新サービスの第一弾を今期中にリリース予定

中小企業の経営にかかわる あらゆる情報を一元管理できるプラットフォーム

第1弾 マーケティング

ウェブサイトのアクセス数から
広告の効果測定など
ウェブマーケティングに関わる
あらゆるデータを一元管理。

様々な広告施策の効果を見える化し、
マーケティング領域の課題を明確に。

2024/6 リリース予定

様々なツールを
つかいこなせない

データの見方が
わからない

↓

新サービスでデータを一元管理
わかりやすいレポートと
それに基づくコンサルティングを提供

↓

**データに基づいた
客観的な判断が可能に
マーケティングDXの実現**

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

ビジネスモデル

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

MISSION

すべての中小企業のDXをサポートする

私たちは「誰からも必要とされる会社になる」という経営理念の元、動画を起点としたマーケティングDXを多くの中小企業・個人事業主の皆様にご提供し、活動の支援を行っております。
中期経営計画では、あらためて「すべての中小企業のDXをサポートする」とミッションを定義しました。目まぐるしく変化する市場においてDXの重要性が増し続けるなか、更に多くの企業に価値を提供することで、“世の中をより豊かにする”というビジョンの達成に向けて邁進してまいります。

VISION
世の中をより豊かに

経営理念
誰からも
必要とされる会社になる

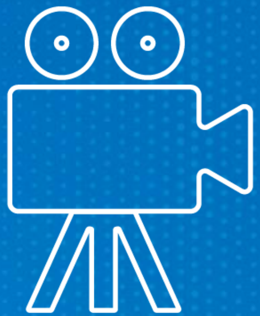
MISSION
すべての中小企業の
DXをサポートする

VALUE
動画を起点とした
マーケティングDX

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

動画を起点としたマーケティングDXを実現

1 動画制作サービス
Video Production



動画制作及び
プラットフォーム
サービス提供に
よるデータ収集

2 動画分析プラットフォーム
Video Platform

動画の視聴データ

動画内の行動データ

データを活用した
クロスセル

3 DXコンサルティングサービス
DX Consulting

ウェブサイト制作・運用

広告運用

採用マーケティング

セキュリティ対策

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

動画分析プラットフォーム

Videoクラウド

動画の価値を最大限に発揮することができる動画分析プラットフォーム

動画を**配信**する

動画を**分析**する

動画を**拡張**する

動画活用の問題点として、せっかく予算と時間を投下したにも関わらず、良かったのか悪かったのかの評価が難しい点がある。Videoクラウドは、これを解消し、経営の意思決定に直結するデータを蓄積できる。

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

Videoクラウドを通じて動画を拡張させることで
視聴者の興味関心や行動などのデータを取得することが可能

Videoクラウド による拡張

- タッチポイント
- ポップアップ
- VR(360°)動画
- ストーリー分岐
- フォーム埋め込み
- 動画切り替え
- 電話リンク
- お気に入り
- コンバージョン計測

タッチポイント

ストーリー分岐

動画切り替え

VR(360°)動画

動画視聴データ

動画内の行動データ

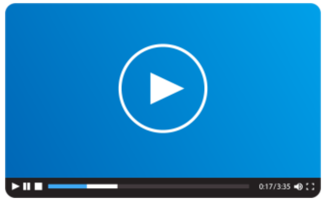
© FINES ALL RIGHT RESERVED.

中小企業が抱える課題に対して、フェーズに応じた適切なソリューションを展開

中小企業が抱える課題

- 集客や採用に課題を感じているが何をすればいいか分からない
- 施策の効果検証が出来ていない次に何をすべきか分からない
- データを活用して企業活動を変革していきたい

ファインズのソリューション



動画制作サービス
企業の強みを端的に伝えるコンテンツの制作
動画広告の配信

Videoクラウド

動画データの活用・分析
動画内の行動データや
視聴者の興味関心を収集・分析

DX Consulting Services

データを活用した複合的なDX支援
Videoクラウドで得たデータを元に
より潜在的な課題への支援を実行

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

ニーズが潜在的な中小企業・個人事業主を対象にビジネスを展開
中小企業向け動画制作市場は巨大な潜在ニーズを抱えるブルーオーシャン

顧客層	社数	ターゲット顧客数	競合企業数	動画活用のニーズ
エンタープライズ 1,000名以上	約4千社	少	多	顕在的
ミディアムA 100～999名	約5万社			
ミディアムB 20～99名	約20万社	多	少	潜在的
スモール 1～19名	約650万社			

大手広告代理店
動画制作会社
配信プラットフォーム
ベンダー企業

中小企業向け動画制作市場は
巨大な潜在ニーズを抱える
ブルーオーシャン

FINES

強力な直販体制にて競合の少ない
潜在ニーズからも案件が獲得可能

中小企業の経営層へ
ダイレクトで提案
・テレマーケティング
・ダイレクトマーケティング

出典：経済産業省「令和３年度経済センサス―活動調査」を元に作成

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

Appendix

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

会社概要

会社名	株式会社ファインズ（Fines inc.）
代表者	代表取締役社長　三輪 幸将
所在地	東京都港区芝浦一丁目２番１号 シーバンスN館19階
設立[1]	2009年5月8日
資本金	230百万円
事業内容	Videoクラウド事業 ・動画制作サービス ・動画配信プラットフォームサービス ・DXコンサルティング 店舗クラウド事業
営業所	東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌、金沢

2019年６月30日に旧株式会社ファインズを吸収合併し、商号を株式会社ファインズに変更
注１：旧株式会社ファインズの設立

2022	東京証券取引所グロース市場へ上場（9月28日）
2021	**動画配信プラットフォームサービス「Videoクラウド」の本格リリース**
2019	LBOを経て、**新ファインズがスタート** **インタラクティブ動画の提供開始**
2018	カスタマーサクセス部門の発足 本格的な**DXコンサルティングサービス**の開始
2016	デジタルマーケティング支援サービスの提供開始
2015	**動画サービスの提供開始**
2013	予約システム「TSUNAGU」「いつあき」の提供開始
2010	SEO・MEO（Google地図連動型サービス）・ スマートフォンサイト制作の提供開始
2009	ファインズ創業 モバイルFlashサイトの提供開始

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

オンライン説明会についてのご案内

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

個人投資家及び機関投資家・アナリストの皆様を対象に、
2024年６月期第３四半期決算説明会をオンラインにて配信いたしますので、
下記の通りお知らせいたします。

１．日　　　時：2024年５月14日（火）18:00～18:30（終了予定）

２．当社説明者：代表取締役社長　三輪　幸将
３．視 聴 方 法：開始時間になりましたら、以下Zoomにご参加いただき、ご視聴ください。

Zoom　リンク
https://us06web.zoom.us/j/81644180579
なお、本説明会配信終了後、動画を当社ホームページに掲載いたしますので、リアルタイムでご覧いただけない場合は、そちらをご覧ください。

事前のご質問等があれば下記のアドレスにお願いいたします。
ご質問が多かった内容については、説明会の中でご回答させていただきます。
contact@e-tenki.co.jp

© FINES ALL RIGHT RESERVED.

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合がございますが、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されており、将来の結果や業績を保証するものではありません。
このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項･組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

© FINES ALL RIGHT RESERVED.